

グローバル総合「国際協力とジェンダー」 途上国の人権について考える

養護・保健 増田かやの
家庭科 葭内ありさ

1. はじめに

本講座は、SGH 事業で設置した、グローバル総合科目の一つであり、2年生を対象とした選択授業である。ジェンダーの視点から国際協力を考え、その課題解決に臨み、発信していくことが本講座の目的である。お茶の水女子大学教員によるジェンダーや国際協力についての講義や、自分たちで調べたことを発表することを通じて、学習を深めた。10月には台北研修を行い、昨年度交流協定を結んだ、台北市立第一高級中学(高校)の生徒たちと一緒に、特に「途上国の女儿の人権問題」課題解決のためのプレゼンテーションやディスカッションなどを実施した。本授業では、台北研修における成果や振り返りから、課題解決に向けて話し合いを行った。外部組織や家庭科、保健科など他教科との連携、ICTの活用事例でもある。

2. 対象生徒：

第2学年 SGHグローバル総合「国際協力とジェンダー」選択者 16名

3. 実施

日時：11月21日(土) 10:05～12:00

本時の目標：これまでの授業と台北における海外研修の内容を踏まえ、生徒自身が「途上国における女儿の支援」について考え、発信する内容を提言としてまとめる。

展 開	生徒の活動	留意点
1時限目 本時の説明 発表	説明を聞く グループ毎に発表を行う 1 全体発表 2 研修 ①プレゼン班 ②広報班 ③チャリティー物品開発班	発表の準備 (PC、スクリーン、プロジェクター) 事前に準備した発表のサマリーを配布 <内容> ・これまでの学習内容 ・台北一女におけるプレゼンとディスカッション ・台湾大学アイセックとの交流 ・映画「湾生回家」

2時限目 ディスカッション (25分)	ディスカッショングループに分かれて話し合う テーマ:「途上国の女の子の支援について、自分たちには何ができるのか?」 ・これまでの資料や具体的なデータを元に話し合う。	各自、資料ファイルを準備 PC、タブレット端末の準備
発表	チーム毎に発表 ・他チームは、発表を聞きながら評価表を記入する。	発表についての評価表配布
まとめ	提言のまとめ	

4. 評価

- 1 国際協力における具体的な問題について理解できたか。
- 2 ジェンダーに関する概念の理解とともに国内外における問題について具体的に理解できたか。
- 3 国際協力における課題についてその解決のための施策について取り組むことができたか。
- 4 グローバルな問題を考えるとともに、自己の在り方、生き方、進路といったキャリアデザインも合わせて考えつつ、発信していく力を養うことができたか。

5. 生徒の様子

前半の発表では、生徒は今までの授業や台湾研修でのプレゼンテーションの経験を大いに生かし、見やすい各種資料、動画や英語も交えながら、堂々とわかりやすいプレゼンテーションを行った。続くディスカッションでも、白熱した議論が展開した。まとめの各チームの提言発表からは、本講座のねらいである、ジェンダーの視点をふまえてグローバルに諸問題を捉え、発信し得る力をもつ女性リーダーとしての資質が育まれたことが伺えた。また、休憩時間には、授業で作成し台湾でも販売した、途上国女子支援のオリジナル缶バッチの販売を生徒が行い、好評であった。

6. おわりに

研究協議会では、本校のSGHプログラムについてや、授業のねらい等の説明を行

い、協議を行った。生徒の課題解決の育成についての具体的な質問や、本校の状況、各校の状況に関する質問や報告が相次ぎ、SGHプログラムへの高い関心が伺われた。SGH 2年目の様子を公開できたことは、今後の発展に向けた良い機会となったと思われる。